

公開文書

令和 5年 1月 1日

(臨床研究に関する公開情報)

水戸医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。なお、この研究に参加している方の個人情報等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

また本研究は観察研究であり、研究対象者への侵襲や介入がなく、診療情報などの情報のみを用いて実施されます。研究対象者の同意を得ることは時間・費用等に照らし研究の遂行に支障を及ぼすため、研究の目的を含めて研究の実施についての情報を通知または公開して可能な限り拒否の機会を保障すること（オプトアウト）により実施します。

通知の方法は国立病院機構水戸医療センターのホームページに掲載または病院内に掲示することで行います。

【研究課題名】 胸部出口症候群の診断における MRI の有用性の検討

【研究責任者】 水戸医療センター 医師 小川健

【研究の概要】 胸部出口症候群の診断における MRI の有用性を検討することが本研究の目的である。脳血管系の描出で知られる MRI における最大値投射法を応用し、既に報告している独自の撮像法にて得られた MRI 画像より、神経や血管の狭窄状態を解析する。

【個人情報の取扱い】 利用する情報からは、お名前、住所など、個人を直接同定できる情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報には利用しません。

【研究対象者等に通知し、又は研究対象者等が容易に知り得る状態に置くべき事項】

- 1) 試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む）
MRI 画像を診断目的に撮像し、解析する。治療経過との整合性を評価する。
- 2) 利用し、又は提供する試料・情報の項目
MRI 画像、臨床所見
- 3) 試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名
当院で情報を収集・解析する。
- 4) 提供する試料・情報の取得の方法
外来で MRI を撮像する。
- 5) 提供する試料・情報を用いる研究に係る研究責任者（多機関共同研究にあっては、研究代表者）の氏名及び当該者が所属する研究機関の名称

水戸医療センター 整形外科
研究責任者 (職名) 骨運動器部長 (氏名) 小川健

5) 利用する者の範囲 整形外科
水戸医療センター 骨運動器部長 (氏名) 小川健
研究責任者 (職名) 骨運動器部長 (氏名) 小川健

6) 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称
水戸医療センター 整形外科
研究責任者 (職名) 骨運動器部長 (氏名) 小川健

7) 研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の
研究機関への提供を停止する旨
下記 [問い合わせ先] へ連絡

9) 8) の研究対象者等の求めを受け付ける方法
下記 [問い合わせ先] へ連絡

10) 研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧できる旨 (他の研究対象者の
個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られる旨を含む。) 並びにそ
の入手・閲覧の方法
下記 [問い合わせ先] へ連絡

[問い合わせ先] 国立病院機構水戸医療センター 整形外科 小川健
電話 029-240-7711 FAX 029-240-7788